



■訪問団長のジャンピエール・サントウイユ氏

フランス7地域のバイオクラスター代表団がファルマバレーを訪問

キャンセール・ビオ・サンテ(トゥールーズ地方)など、がんを主な研究対象とするフランス7地域のバイオクラスターの訪問団(団長:ジャンピエール・サントウイユ氏)27人が昨年10月14日にファルマバレープロジェクトを展開

する県東部地域を訪問した。

当日は、がんセンター等の視察のほか、同プロジェクトに参画する企業との意見交換を通じて相互理解を深めた。今後も積極的なクラスター間交流に向けた対話を進める予定だ。



■石川知事の挨拶を受ける訪問団(左)と時間の許すまで、会場で意見交換を進めるファルマバレーとフランスクラスター関係者(右)



静岡県治験ネットワークが参加した治験から新薬が登場

昨年6月、アボットジャパン(株)から新製品「ヒュミラ®」(一般名:アダリムマブ)が発売された。

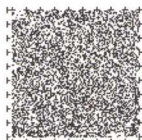
この製品は、関節リウマチ治療における新たな選択肢を提供するもので、国内の関節リウマチ患者352人による第II

Ⅲ相治験が行われ、静岡県治験ネットワーク病院から9人の患者が参加し、承認・発売された製品。また、現在も承認申請中の製品が3品目あり、同治験ネットワークが先進医薬の普及に確実に貢献していくことが期待されている。

■「ヒュミラ®」(アボットジャパン社ホームページから引用)

ファルマバレー参画企業が『新連携計画』に認定

東海部品工業(株)、(株)松浦製作所、フジファルマ(株)によるコンソーシアムが、昨年12月24日に関東経済産業局と厚生労働省から「新連携計画」の共同認定を受けた。



当事業は、異なる分野で事業を行う複数の中小企業が持つ様々な「強み」を持ち寄り連携し、単独では成しえなかった高付加価値の製品・サービスを創出するもの。

医療関連部品の開発・製造を行う東

海部品工業(株)をコア企業として、精密樹脂加工技術を有する(株)松浦製作所及び医療機器開発支援を行うフジファルマ(株)がそれぞれの技術・知識を持ち寄ることで、さらに高品質の救急時携帯用人工呼吸器の開発と事業化を目指す。